

安全管理方針

宮川海運株式会社は、海上輸送の社会的な重要性とその責任の重大性を強く認識し、安全・安定運航に徹し、確実かつ円滑な輸送業務を遂行し、その社会的使命を達成することを、我が社の基本理念とする。

かかる業務の遂行に当っては、人命の保全と、環境及び財産保護の観点から、無事故・無災害・無公害の達成を目的として、関係法規・マニュアルを遵守し、安全管理システムを通して、安全を推進するものである。

本方針を達成するため、会社は、船舶に関する関係法規、積地・揚地関連荷主の定める船舶安全基準、及び内航タンカー安全指針、その他会社の定める規則等を纏めた安全管理システムを確立し、関連する陸上部署、並びに管理する船舶に適用する。

私は、安全管理システムの実施に対し全責任を負い、かつ関連部署の業務に従事する陸上社員、及び船長以下船舶乗組員全員に対し、安全管理方針並びに船舶管理マニュアルに従い、業務を遂行することを命ずる。

私は、管理方針の実施に当り、管理責任者を指名して、船舶安全管理上の全ての責任と権限を委譲すると共に、安全管理システムが円滑に遂行される様支援し、経営責任者としての、最終的な権限と責任を持つ事を確約する。

以上が当社の船舶安全管理に関する基本方針であり、全ての社員に対し、本方針を遵守する事を命ずる。

用途 油タンカー（内航）

平成12年10月1日

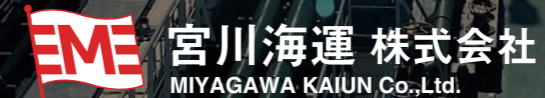


〒850-0035 長崎市元船町17番1号 TEL 095-826-5171 FAX095-826-5175

**SAFETY
MANAGEMENT
SYSTEM**
certified by
ClassNK

Company Profile

エネルギーと安心を運ぶ



宮川海運は、海上輸送の社会的な重要性とその責任の重大性を強く認識し、安全・安定運航に徹し、確実かつ円滑な輸送業務を遂行し、その社会的使命を達成するべく、日々の内航業に邁進しております。

会社概要	
商号	宮川海運株式会社
所在地	長崎市元船町17番1号
TEL/FAX	TEL:095-826-5171 / FAX:095-826-5175
創立	昭和24年4月
資本金	3,000万円
URL	https://miyagawakaiun.jp/
事業内容	内航海運業(登録番号 九C0104)
代表者	代表取締役社長 三井 一明
従業員数	陸上11名、海上60名、計71名(令和8年1月1日現在)
主要取引先	鶴見サンマリン株式会社、全国漁業協同組合連合会、林兼石油株式会社、伯方造船株式会社、株式会社三和ドック、鶴洋商事株式会社

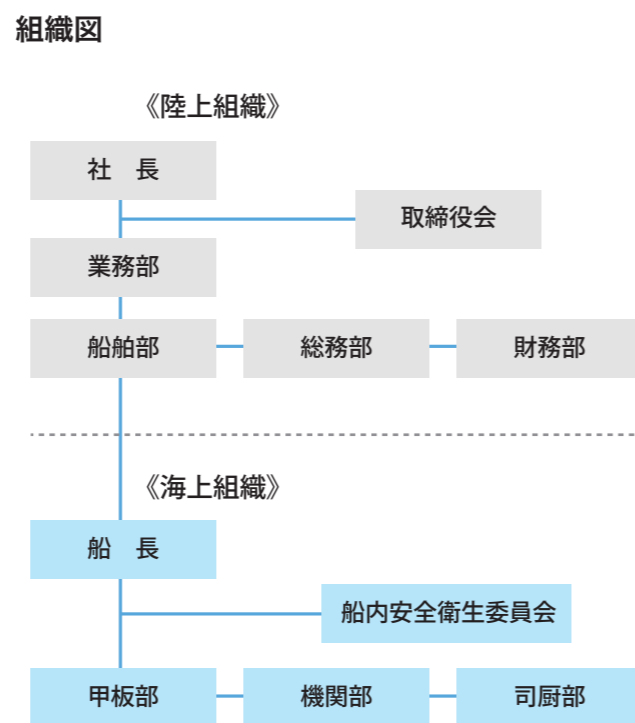
経営理念

我々は、能力を高め全員が協力し、海難事故・人身災害・海洋汚染「ゼロ」達成を目標に、地球環境の保護と環境汚染の低減を図り、安全・安定運航に徹しお取引先に信頼される明るく堅実な海運会社として、物流業界発展に寄与する。

平成22年10月 宮川海運株式会社

社訓

1. 企業は何よりも人にある。人格と能力を高めよう
2. 人は創造と進歩に生きる。切磋琢磨しよう。
3. 業は周到に企画し果敢に実行する。
4. 誠実と公正により、おのずから和となす。
5. 奉仕と献身により、おのずから利となす。



船舶紹介

第十八宮丸 MIYA MARU NO.18	総トン数 998トン 主機関 阪神内燃機工業(株) 2,200ps 黒油 2,000K/L積 竣工日 令和6年5月17日	
鶴神丸 KAKUSHIN MARU	総トン数 999トン 主機関 阪神内燃機工業(株) 2,600ps 黒油 2,000K/L積 竣工日 令和3年5月13日	
鶴隆丸 KAKUYOU MARU	総トン数 3,878トン 主機関 4,000ps 白油 5,000K/L積 竣工日 平成30年10月11日	
第一宮丸 MIYA MARU NO.1	総トン数 3,848トン 主機関 阪神内燃機工業(株) 4,500ps 白油 6,000K/L積 竣工日 平成23年2月25日	
備船		
大和丸 YAMATO MARU	総トン数 199トン 所有 山下海運有限公司	
海龍丸 KAIRYOU MARU	総トン数 199トン 所有 海龍丸海運有限公司	

沿革

昭和24年4月	米油タンカー(株)代表取締役宮川伊喜松を社長とし資本金80万円で元船町に設立。第1宮丸を購入。スタンダード石油会社に専属し九州沿岸の輸送にあたる。	
昭和26年2月	社名を宮川海運株式会社に変更。出光興産株式会社、林兼石油株式会社他、一般元売会社との取引拡大。	
昭和27年1月	第3宮丸299トンを建造。	
昭和32年12月	第8宮丸609トン(900K/L積)建造。	
昭和36年9月	宮丸636トン(750K/L積)建造。	
昭和36年10月	資本金2,000万に増資。	
昭和38年10月	宮丸764トン(1,000K/L積)改造。	
昭和41年9月	第18宮丸916トン(1,800K/L積)建造。	
昭和41年9月	第18宮丸997トン(2,000K/L積)改造。	
昭和43年11月	第8宮丸997トン(2,200K/L積)建造。	
昭和44年9月	内航運送業1号取得認可。	
昭和46年8月	内航船舶貸渡業認可。(九R2484)	
昭和46年12月	近海貨物船諏訪丸3,549トン(6,500D/W積)建造。	
昭和47年4月	資本金3,000万に増資。	
昭和49年4月	日興丸2,386トン(4,000K/L積)建造。	
昭和50年4月	諏訪丸2,808トン(5,000K/L積)建造。	
昭和50年6月	内航運送業1号業者を2号業者に変更。	
昭和54年12月	出島丸996トン(2,000K/L積)建造。	
昭和57年8月	女神丸1,673トン(3,200K/L積)建造。	
昭和58年3月	宮丸698トン(2,000K/L積)建造。	
昭和59年2月	内航運送業2号業者を3号業者へ変更。(九C0104)	
昭和59年7月	諏訪丸1,554トン(3,000K/L積)建造。	
昭和63年11月	長光丸699トン(2,000K/L積)建造。	
平成4年11月	彦山丸1,554トン(3,000K/L積)建造。	
平成10年3月	長崎市万屋町において駐車場業務を開始。	
平成13年3月	油送船舶安全管理適合認定書(DOC)取得。九州運輸局長崎運輸支局第一号。	
平成15年5月	鶴神丸998トン(2,300K/L積)建造。	
平成19年6月	第十八宮丸999トン(2,250K/L積)建造。	
平成23年2月	第一宮丸3,848トン(6,000K/L積)建造。	
平成30年10月	鶴隆丸3,878トン(5,000K/L積)建造。	
令和3年5月	鶴神丸999トン(2,000K/L積)建造。	
令和6年5月	第十八宮丸998トン(2,000K/L積)建造。	